



昨年引き続き最優秀賞は波野の「高柳和みの花みち会」
道路河川環境美化コンクール



【審査結果】

最優秀賞	高柳和みの花みち会
優秀賞	おごもり花公園
	いこいの村通り花の会
佳作	内牧花原川を守る会
	四ツ江川ホテルの会
	古神二区
	小嵐会老人クラブ
	うぶさん会



表彰を受ける大塚氏。

河川や道路、水路の環境美化を行って、地域住民の憩いの場として愛護の精神を養い、機能の向上を図ることを目的として市の主催で毎年開催される「道路河川環境美化コンクール」の表彰式が11月11日、市役所で行われました。本年は25団体が参加。審査は、各種団体や高校生など12名が審査

員として現場へ出向き厳正に行いました。その結果、昨年引き続き最優秀賞に波野の「高柳和みの花みち会」が選ばれました。

高柳和みの花みち会代表の大塚國勝氏は「このコンクールが最終目標ではない。今後も『和みの花みち会』の思いを大切に、人と人との和を究極の願いとして、なお一層すばらしい地域づくりにまい進したい」と受賞の喜びを述べられました。



審査の様子。高校生の審査委員も、現地を歩いて厳正に審査しました。

地元の協力で新しい小堂が完成
阿蘇西国三十三か所観音霊場・五番札所「満念寺」



落慶法要の様子。西巖殿寺の住職が法要とともに三十三か所巡りなどの歴史を紹介されました。

内牧4区の満徳寺のすぐ前に、小堂のみが残る「天松山満念寺」。昭和の中頃まで阿蘇西国三十三か所観音霊場の一つとして親しまれていましたが、近年は参拝者も減り、建物の老朽もひどく、中に立派な「本尊十一面観音」が鎮座しているにもかかわらずその存在が薄れつつありました。そこで、大切な地元の宝を蘇えらせようと内牧の方たちが力を合わせ「満念寺」再建計画をスタート。寄付活動等に約一年を費やし、11月8日、無事新しい小堂の落成を迎えました。地域を良くしたいという内牧の皆さんの寄付と寄進で完成したものです。 ※観音参り三十三か所は、阿蘇市内は西巖殿寺を含め17ヶ所。残りが高森町、南阿蘇村となっています。



韓国の祭で波野の神楽を披露



韓国内で大きな祭典として知られる忠清南道・論山市の「江景醞醞塩辛まつり」の舞台に、横堀岩戸神楽保存会（佐藤日出生会長）が出演しました。これは今年5月、韓国との交流を行っている家入正宣さん夫妻（坂梨）や山中由女さん（宮地）のお世話で阿蘇を訪れた韓国民族舞踊団の交流会で横堀神楽が上演され、フィナーレでは参加者全員が韓国の太鼓に合わせて踊るほどうちとけ、「次はぜひ韓国で！」との約束が実現したものです。

10月21日、家入正宣さんが団長となり韓国へ渡った一行は、塩辛やキムチなどの屋台が立ち並び広大な会場特設ステージで2演目を披露。神楽太鼓の音に興味を示し次々と集まった観客は、『『八雲抄』に登場するスサノオノミコトは、韓国古代王朝・百濟から出雲の国へ渡ってきたという伝説があります』とのアナウンスに一層興味がかき立てられ、ヤマタノオロチが退治された場面では大きな拍手と歓声が湧きました。神楽は韓国の人に大変喜ばれ、黄明善 論山市長からも歓迎の言葉を受けたということです。